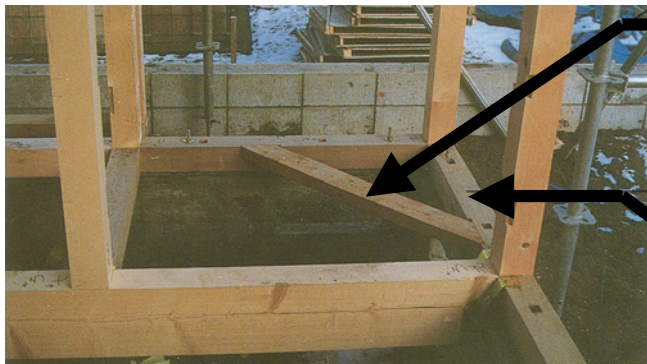


住宅に用いられる製材

【^{ひう}火打ち・^{どだい}土台】



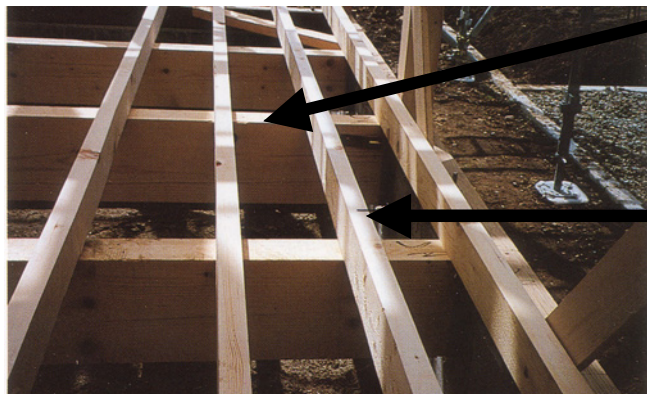
■火打ち（水平材）

補強部材の一種で、すみが変形しないよう斜めにかけてわたした材。
塗布による防腐処理が行われています。

■土台（水平材）

建築物の最下部で建物の全重量を支える材。
加圧注入による防腐処理が行われています。

【^{ねた}根太・^{おおびき}大引】



■大引（水平材）

根太を支える水平材。
塗布及び加圧注入による防腐処理が行われています。

■根太（水平材）

床板を受ける材。
塗布による防腐処理が行われています。

【^{くだばしら}管柱・^{まばしら}間柱・^{すじか}筋違い】



■管柱（垂直材）

土台から軒桁までの間で中継ぎする材。

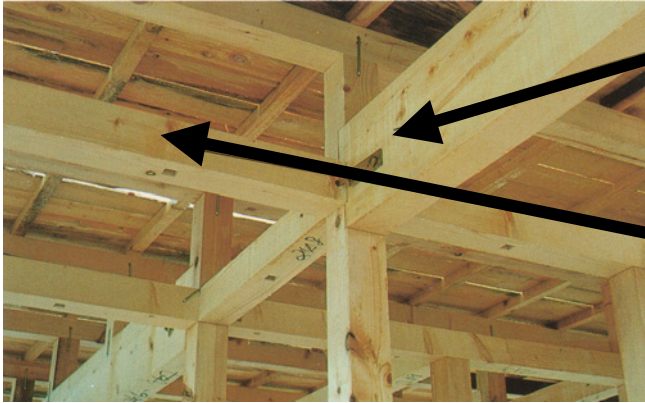
■間柱（垂直材）

壁を造るための骨組みで、管柱と管柱の間に立てる材。

■筋違い

補強部材の一種で、長方形に組まれた軸組の対角線に入れる材。

はり けた
【梁・桁】



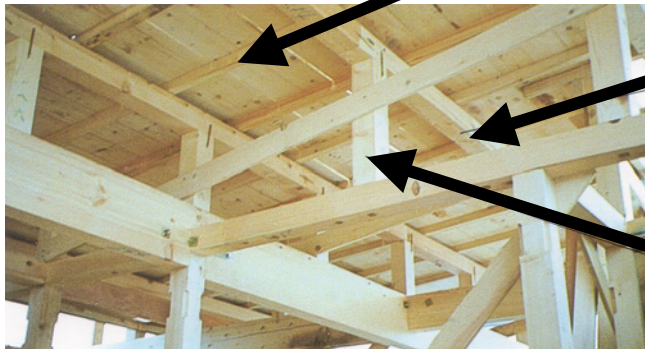
■梁（水平材）

根柱の頭頂部にある横架材で、小屋組を支える材。

■桁（水平材）

管柱の上にかへ、梁とともに小屋組を支える材。

やねたるき もや もやつか
【屋根垂木・母屋・母屋束】



■屋根垂木（水平材）

棟から軒にかけてわたして屋根板を受ける材。

■母屋（水平材）

軒や桁に並行して屋根垂木を受ける材。

■母屋束（垂直材）

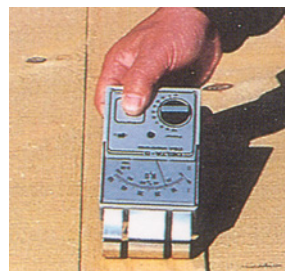
母屋を支える材。

かんぞうざい ぼうふ ぼう しょりざい
【乾燥材と防腐・防ぎ処理剤】

■乾燥材

たくさんの水分を含んだ製材をそのまま建築に使うと、あとで狂ったり割れたりすることがあります。

狂わない長持ちする住宅を建てるためには、使用する部位の条件に合わせて、一定の含水率まで乾燥しておく必要があります。



← 高周波式木材水分計
による含水率試験

■防腐・防ぎ処理剤

住宅のなかで地面に接する部分は湿気が多く、最も腐りやすい部分です。

また、白アリなどの虫害も防がなければなりませんので、土台や根太などは防腐・防ぎ処理が行われています。

防腐・防ぎ材の加圧注入 →

